

## シンポジウム3

## 全国大学病院高気圧酸素治療部(室)連絡会の設置に向けて 「設立の趣旨」

鶴田良介

山口大学大学院医学系研究科 救急・総合診療医学分野

医学教育モデル・コア・カリキュラムの中に「高気圧酸素治療(以下、HBO治療)」の用語は見当たりません。医師国家試験では、減圧症と急性一酸化炭素中毒に関連した出題が散見されるのみです。果たして、医学教育でHBO治療はどのように教えられるべきでしょうか。

国立大学附属病院長会議の診療報酬改定で、HBO治療の救急的適応期間の延長が要望されています。これについても大学病院で情報を共有すべきです。果たして、大学病院のHBO治療はどのように運営されていますか。病院にHBO治療部または治療室が設置され、定期的にその運用状況、安全管理、装置更新の議論がされていますか。そもそも、そのHBO治療部(室)のメディカル・スタッフの構成はどのようになっていますか。看護師、臨床工学技士は専属でしょうか。

私たちの多くが、救急、麻酔科、整形外科、脳外科などの専門のもとにHBO治療に携わっています。HBO治療部があり、それを専属にしているのはごく少数です。HBO治療部をすぐに大学病院に設置すべきとは思いませんが、せめて安全管理と医学教育の情報を共有し、装置が1種であろうが2種であろうが、全国的な連絡網を構築するのは重要であると考え、ここに会長の賛同を得て提案いたします。可能なら定期開催に移行したいと考えます。

今回のシンポジウムでご提示いただきたいのは、以下の項目です。

- ① 高気圧酸素治療部(室)の沿革、院内取り決めや会議の開催の有無
- ② HBO治療部(室)の構成員について
- ③ 非救急的適応の患者の安全性の確認者は誰か?
- ④ HBO治療の対象は入院患者/外来患者の両方か?
- ⑤ HBO装置の次回更新の予算はどこが負担するか?

- ⑥ 卒前教育で誰がどのようにHBO治療を教えているか? またはそのことを知る由があるか?
- ⑦ 高気圧環境・潜水医学会専門医が院内に何人いるか?その医師の専門は何か?
- ⑧ 時間内のHBO治療の際に装置近くにいるのは誰か?
- ⑨ 時間外のHBO治療の際に装置近くにいるのは誰か?
- ⑩ HBO装置の事故が起こった際のマニュアルの作成はあるか?

また、プロシーディングとして残すことで、今後この学会から大学病院でのHBO治療部(室)の存在意義を関係省庁、関連機関にお示しする資料として広く有意義に活用されることを望みます。そのためタイトルは、「〇〇大学 または 〇〇医科大学の高気圧酸素治療の卒前教育と日常診療」に統一をお願いし、その施設の得手不得手にかかわらず、上記①から⑩に関して漏れなく正直に述べていただいております。